

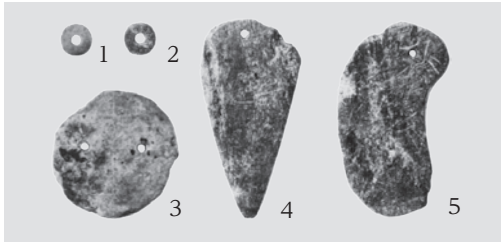
発見!

牛久のお宝

問 文化芸術課(中央生涯学習センター内) ☎871-2300

第15回 神々にささげられた石製模造品

ーナギ山遺跡(桂町)ー



ナギ山遺跡出土の石製模造品

1・2:白玉(径約6mm)、3:有孔円板(長さ約3cm)

4:剣形模造品(長さ約4cm)、5:勾玉未製品(長さ約4cm)

石製模造品とは、古墳時代の遺物で、滑石などの軟らかい石材を加工して、さまざまな道具の形をまねて作ったものです。その種類は、剣・鏃の武器類、斧・鎌の農工具類、勾玉・白玉の玉類、鏡などがあります。これらは古墳に副葬されたり、祭祀に使用されたりしたと考えられています。

ナギ山遺跡は平成14年度に圏央道建設に伴う発掘調査が行われ、古墳時代の住居跡から、祭祀に使われたと思われる、赤く塗られた埴形



白玉・滑石剥片

◆今回紹介した石製模造品は、かっぱの里ギャラリー(かっぱの里生涯学習センター)内で展示中

土器や、鏡を模した有孔円板・白玉などの石製模造品が見つかりました。また、滑石製の白玉とともに、作りかけの白玉、多量の滑石の剥片、砥石が出土している住居跡があり、白玉の工房だった可能性が考えられます。古墳時代のナギ山遺跡では、祭祀を執り行うとともに、それに使う石製模造品も集落内で製作していたと思われる。

里山の樹木

問 都市計画課 ☎内線2524

文芸さろん | 葉月 |



第44回 ムクノキ

アサ科ムクノキ属の落葉性の高木で高さ20m。関東地方以南から四国、九州、沖縄に分布。市内では斜面林などに自生し、社寺に巨樹があります。若木の樹皮は灰褐色、ほぼ平滑で、老木になると縦に割れ、鱗片状

戻りきし企業戦士の昼寝かな
風鈴や七つの音色売り歩く
田んぼ道一面みどりのびゆく稲穂
陽をあびて実になりしつづ
ケイタイと猫とそよ風三尺寝
あかあかと夜空彩る火の色の
消えゆく様も美しきかな
三姉妹アルバム囲み明易し

進の介
高階さん
枝さん
淑子
匿名希望
秋穂

<次回募集テーマは「秋」>

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など
【あて先】〒300-1292 牛久市中央3-15-1
「広報うしく文芸さろん」係 FAX:873-2512
E:kouhou@city.ushiku.ibaraki.jp
【記載事項】作品、氏名、電話番号
匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)



に剥がれます。葉は長さ6〜9cmの卵状披針形、葉縁は基部を除いて規則正しい鋸歯があり、先端はとがります(写真②)。花は4〜5月に開き、雌雄同株。雄花は新しい枝の基部に多数が集散花序をなし、雌花はその上部に1〜2個つきます。果実は核果、長さ7〜12mmの広卵状、先端に花柱が残り(写真③)、はじめは緑色で秋に紫黒色に熟し、野鳥の大好物です。

※牛久の里山樹木ハンドブック26ページ掲載。本の問い合わせは牛久自然観察の森(☎874・6600)まで。

【資料提供】NPO法人うしく里山の会(文章:石川満夫、写真:戸塚昌宏)

「牛久の巨樹」発売中 ※お求めは都市計画課まで(1,200円)